

日本 OR 学会 2015 年度中部支部シンポジウム

「航空機の保全設計技術と OR」

日時：2015 年 9 月 19 日（土）13:30—17:30

場所：ウインクあいち 15 階（愛知県立大学サテライトキャンパス）

〒450-0002 名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38 (<http://www.winc-aichi.jp/access/>)

シンポジウム趣旨

近年発生した大震災や航空機のトラブルなどから、ライフラインに欠かせない輸送機の保全をどのように考え、運用していくかが喫緊の課題になってきている。本シンポジウムでは航空機の信頼性を考えた運用技術をテーマとして、現在この分野の最前線で活躍されている研究者や経営者に、保全設計を考慮した運用方法の解説と共に、最新の研究成果や活用事例なども報告していただく。航空機の保全設計がどのように行われているかは一般にはあまり知られてなく、まして OR との関連もこれまで知られることがなかった。シンポジウムでは、まず耐用年数を考慮した航空機の保全設計を説明する。次に、これらの保全設計の基礎になる航空機用素材についても、安全な運用のためにどのような技術が使われるかを説明する。それらを踏まえ、航空機の信頼性設計技術について説明する。

プログラム

13:30—13:35 開会挨拶 OR 学会中部支部研究幹事 木村 充位（岐阜市立女子短期大学）

13:35—14:45 「航空機における複合材料の適用と課題」

講師：伊牟田 守（岐阜県研究開発財団）

14:55—16:05 「連続繊維熱可塑性材料（CFRTP, GFRTP）の成形法と用途」

講師：馬場 俊一（サンワトレーディング株式会社 代表取締役）

16:15—17:25 「民間航空機の保全や設計に関する OR モデル」

講師：伊藤 弘道（金城学院大学 消費生活科学研究所）

17:25—17:30 閉会挨拶 OR 学会中部支部支部長 金子 美博（岐阜大学）

参加費

1,000 円（ただし、学生は無料）

懇親会

シンポジウム終了後、奥志摩 名駅中央店 別館 (<http://r.gnavi.co.jp/n001225/>) にて懇親会を開きます（予定会費 5,000 円）。懇親会に参加される方は、会場予約の都合上、下記の事前申し込みを必ずご利用ください。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

申し込み方法

問い合わせ先にある中部支部の Web ページからお申し込みください（締切 9 月 4 日（金））。シンポジウムは当日参加も可能ですが、準備の都合上、できるだけ事前申し込みにご協力ください。なお、懇親会に参加される方は、必ず事前申し込みをお願いします。

主催

主催：日本オペレーションズ・リサーチ学会中部支部

協賛：日本機械学会東海支部、日本経営工学会中部支部 他

問い合わせ先

詳しくは中部支部の Web ページ (<http://www.orsj.or.jp/chubu/?p=2442>) をご覧下さい。

お問い合わせ先：OR 学会中部支部研究幹事 木村 充位 (kimura@gifu-cwc.ac.jp)